第五回日本シムトラ学会

SimutransのコンパイルをWindows Subsystem for Linuxで

廉(Ren)（@osukoke）

九龍会市原支部

１． まえがき

Simutrans本体開発では、開発者の使用端末により様々なコンパイル環境が用いられていると思われる。しかし、環境によっては特殊なコマンドを用いることや、困った際の情報が少ない、情報が多い有名ソフトウェア（アプリ）や各種Linux系ディストリビューション（以後Linuxと省略）環境は導入までの難易度が比較的高いということが考えられる。

当発表では、Windows10の大型アップデートにより（CUI環境のみではあるが）Linuxが前述の状況に比べ比較的手軽に利用出来るようになった事を踏まえ、Linuxアプリを用いた開発環境構築方法を解説する。  
なお、当スライドではWindows上でSimutransを実行できるようクロスコンパイル環境の構築となる。

2 ．当発表内容で出来るようになること

* Windows Subsystem for Linux（以後WSLと表記）の  
  セットアップ
* 各種Linuxのストアからのインストール
* Simutransのクロスコンパイル用環境の構築

また、WSLセットアップとLinuxインストールによりシェルスクリプト（Windowsでいうbatファイル）が利用可能になるため、人によっては自動pak化シェルスクリプトを作成できるようになる。

3. 必要環境

* Windows 10 バージョン1709(Build 16299)以降
* ネットワーク環境
  + Microsoft Storeでの本体ダウンロードと、WSL更新（aptコマンド）で使用します

１． Introduction

2．